

イチゴの定植前研修会を開催

9月10日、JA東びわこイチゴ部会の定植前研修会が開催され、生産者23名が出席されました。当課から、今年の定植時期と定植後の栽培管理について説明を行い、適期定植と基本技術の確認を行いました。今年の育苗は全体的に順調で、9月20日前後には大半の生産者が定植を完了する見込みです。

湖東管内では、少量土壌培地耕によるイチゴ栽培に32戸25,865㎡で取り組まれており、全員がJA東びわこイチゴ部会に加入されています。イチゴ部会では毎年、5～6回の研修会が開催されており、当課から基本技術の確認を中心に、生育障害対策や獣害対策など、開催時期に合わせた内容について研修を行っています。

今回は、定植前の研修会ということで、花芽分化の状況と定植時期について説明を行い、適期に定植されるよう研修を行いました。また、定植後の栽培管理や県内での栽培品種の動向についても説明を行いました。

今後も継続的に研修や巡回を行い、イチゴの安定生産につなげていきます。



研修会前に育苗の状況を確認 (8/27)



花芽分化の状況を検鏡 (9/8)



研修会の様子 (9/10)